

ともに歩むまちづくり

男女共同参画都市宣言記念講演会

男女が共に輝く社会へ
キヤリアも家庭も諦めない！
40代からのキヤリアと暮らしの考え方

神崎 智子さん



福津市が、平成15年に男女共同参画都市を宣言した記念として、9月20日、講演会を開催しました。認定NPO法人日本BPW連合会副理事長の神崎智子さんが講師を務め「男女が共に輝く社会へ、キヤリアも家庭も諦めない！40代からのキヤリアと暮らしの考え方」をテーマに、講演しました。

講演の前半では、男女共同参画社会の意義を解説。特に、女子差別

撤廃条約の考え方を軸に、これまでの歴史を振り返りながら、私たち一人一人が、自身の生き方を見つめ直す大切さを語っていました。講演の後半では、参加者が自分

この過程を通じて、自分自身の目標や次の一步を具体的に描くことができました。

無意識の思い込みに気付くことで誰もが安心して過ごせる環境に

さらに、アンコンシャスバイアスやジエンダーバイアスなどの社会に存在するさまざまなバイアスについても話がありました。例えば「イクメン」という言葉が広く使われている一方で「イクウーマン」という表現はあまり聞かれないことから、言葉の使われ方も、性別役割への無意識の思い込みが表れていることを指摘していました。こうした気づきは、職場や地域において、誰もが安心して過ごせる環境づくりのヒントとなります。また、仕事や生活の今後の方向性について、実践的かつ前向きな視点で話をしていました。

生き方や働き方を見つめ直し
男女がともに輝く社会へ

講演後のアンケートでは「自分の年代にぴったりの内容で参考になつた」「40代を迎えるにあたり、これから的人生設計を考えるきっかけになつた」「自分の中にある無



▲笑顔で解説する神崎さんと男女共同参画社会の実現を呼び掛ける福井市長

市では「福津市男女がともに歩むまちづくり基本条例」に基づき、家庭や地域などで男女がともに歩むまちづくりを進めている市民や団体を推進モデルとして推薦しています。今年度の男女がともに歩むまちづくりへ向けた取り組みや推進モデルを紹介します。

問い合わせ 市男女共同参画推進室 43・8116

令和7年度
「男女がともに歩む」一行詩
優秀作品

市内の小・中・高校生に、男女が歩むまちづくりへの思いを一行詩で表現してもらいました。

【小学生の部】

男でしょ 女でしょ 自分らしさでいいんだよ
自分らしく生きられる社会
《上西郷小学校5年 山田 瑞さん》
人生は自分らしさでゆめをかなえよう
《神興小学校4年 神崎 理紗さん》
自分の色と友達みんなの色、全員あわせて、カラフルに
自分らしさでゆめをかなえよう
《神興東小学校6年 橋渡 美月さん》
自分のすきは 自分の物だ
《津屋崎小学校5年 濱川 朝陽さん》
好きな洋服 好きなランドセル 選べる時代
《津屋崎中学校3年 北川 楓馬さん》
自分が自身の生き方や働き方を見
つめ直し、新たな一步を踏み出す
機会となっていました。今後も市
民の皆さんとともに、男女がとも
に輝く社会の実現のため講演会
などを通して啓発していきます。

時代は変わったんだ 育休は 男女共通
《津屋崎中学校3年 原田 奈々花さん》
「男なら」「女なら」その一言を変えることで未来は明るくなる
《福間中学校3年 矢野 蒼空さん》
大黒柱 だれがなつても かまわない
《福間中学校3年 能勢 倫太朗さん》
役割は 得意不得意で 決めること
《福間東中学校2年 中嶋 尚汰さん》
「ええ ピンク？」 いいじゃんべつに 好きだから。
《福間東中学校3年 加藤 快兜さん》
笑顔をつなぎ合い 共に進むまちの明日
《光陵高校1年 鶴田 利花子さん》
ひとりひとりの声が響き合い、共に歩む未来の扉
《光陵高校1年 荒川 真昼さん》
みたいのは 男女らしさよりも 君らしさ
《水産高校1年 島田 桜羽さん》
男だから…。女だから…。それだけで自分の可能性を夢を閉じ込めないで。
《水産高校1年 福島 修二さん》
決めつけない 一人一人 権利がある
《水産高校1年 的場 紹さん》



▲「男女がともに歩むまちづくり・ふくつ」のシンボルマーク